

# 塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」

**主催** 一般社団法人 色材協会 関東支部

**協賛** (予定) 日本塗料工業会, 関東塗料工業組合, 東京塗料商業協同組合, 化学工学会, 高分子学会, 自動車技術会, 日本化学会, 日本工業塗装協同組合連合会, 日本塗装技術協会, 日本塗料検査協会, 表面技術協会, 腐食防食学会, 有機合成化学協会

塗料・塗装に求められる役割は「保護」、「美観（意匠）」、「機能」の付与と言われております。それらの性能、品質、コスト（生産性）、環境対応、意匠性へのニーズは年々高まってきております。本講演では、技術革新の著しい「自動車の内外装」に焦点を当て、その最新動向を自動車・塗料・材料・装置の各業界の最先端で活躍されている先生方から講演していただきます。技術者の方はもちろんですが、製造・品質管理関係、営業関係の方々にも役立つ情報が得られるものと確信しております。多数の方々の参加をお待ちしております。

コロナウイルス感染拡大の状況によっては、Zoom によるオンライン開催のみとさせていただきます。変更の場合は速やかにお知らせいたしますので、ご来場前には必ずホームページ等のご確認をお願い致します。

**日時** 2021年5月21日（金）10：00～16：50

**会場** 東京塗料会館 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-12-8 TEL03-3443-2811

JR 山手線：埼京線, 地下鉄日比谷線・「恵比寿」駅より徒歩 12～15 分（受講券に案内図印刷）

オンライン（Zoom）同時開催

**受講料** 会員（協賛学協会会員共）20,000 円、会員外 33,000 円（テキスト代、消費税込）

\*テキストは事前に送付いたします。

**申込締切日** 定員（60 名）になり次第締切らせて頂きます。お早めにお申込み下さい。

**申込方法** 申込書に所定の事項を明記して FAX または E-Mail でお送り下さい。

受講料は請求書到着後に①郵便振替②銀行振込のいずれかで講座当日までにお振込み下さい。

（郵便振替口座：00120-7-76423 銀行口座：三菱 UFJ 銀行恵比寿支店 普通預金No.1547898 （社）色材協会）

**申込先** 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-12-8 東京塗料会館 201 号室

（社）色材協会 TEL 03-3443-2811 FAX 03-3443-3699 E-mail:admin@jscm.or.jp

塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」申込書（FAX 03-3443-3699）

受付No. \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 所属学協会名 \_\_\_\_\_ 会員番号 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部課名 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

※適宜  を付けて下さい。

参加方法  来場  オンライン

受講料  会員 ¥20,000

会員外 ¥33,000

払込方法（お申込み書到着後、請求書を郵送します）

郵便振替（ 月 日 払込予定）

銀行振込（ 月 日 払込予定）

（社）色材協会主催の講座案内をさせていただいてもよろしいでしょうか。（  可  不可 ）

上記情報は、（社）色材協会事務局にて管理いたします。

2021 年 月 日

## 塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」

### — 演 題 と 講 師 —

- 10:00～11:00 **1) 大変革期に向かう自動車塗装の動向について** ダイハツ工業株式会社 神澤 敬彰 氏  
自動車産業は100年に一度の大変革期と言われ、CASE、MaaSといったキーワードが飛び交っている。塗装工程もこれらの変革に対応して変わっていく必要がある。さらにパリ協定、政府の2050年カーボンニュートラル宣言と、エネルギー多消費工程である塗装にとっては、極めて厳しい状況の中、進めていくべき内容について考える。
- 11:10～12:10 **2) 高彩度・高コントラストカラーを実現する自動車塗料の適用開発** 日産自動車株式会社 鈴木 達也 氏  
近年、自動車のボディカラーは各色域で鮮やかなカラーの増加傾向が認められる。今回鮮やかさと深みにコントラストを感じるカラー開発について、達成方策および技術課題を中心に報告する。
- 12:50～13:40 **3) 製缶塗料技術の異形部品への応用展開** トーヨーケム株式会社 尾田 勝幸 氏  
当社は食品缶や飲料缶の内外面コーティングとして多様な飲食料品から金属基材を保護する塗料技術を培ってきました。この塗料設計・塗装技術を基盤とし、自動車部品等の異形部品に適用可能な塗料開発に関し説明します。
- 13:50～14:50 **4) 気象環境と車内内装部品が曝される温度湿度環境の関係性解明** 本田技研工業株式会社 福田 猛 氏  
一台の量産車で沖縄から北海道までの3地域で、のべ2年3ヶ月間曝露試験を行った。その結果から、気象環境と車内内装部品がさらされる温度、湿度環境は、簡単な一次式で定量化することができた。この方法を用いることで、気象データが得られる世界各地で曝露試験した場合の車内内装部品の温度、湿度環境が定量的に把握でき、より現実環境に則した促進劣化試験条件の改定が可能となると考える。
- 15:00～15:50 **5) メタリック顔料の基礎と最新技術動向** 東洋アルミニウム株式会社 中尾 貴之 氏  
フレック状に加工したアルミニウム顔料は、近年、樹脂やシリカによる表面修飾によって様々な機能性が付与されている。本講では基本的なアルミニウム顔料の製造方法から多彩な機能を付与した最近の技術を紹介する。
- 16:00～16:50 **6) Durr 製マスキングレス塗装アプリケーション EcoPaint Jet の御紹介** デュルジャパン株式会社 佐藤 文勇 氏  
塗装工程におけるオーバースプレー低減はVOC、CO<sub>2</sub>、材料費削減に直結します。Durr 製 EcoPaint Jet アプリケーションは100%塗料を塗着させることが可能な技術です。自動車塗装におけるマスキングレス2トーン塗装について説明します。